

vol.05

2018年 11月発行

くりらぼ通信

p1-2. everydayくりらぼ | p3. くりらVOICE | p4. リレーコラム／information

everyday
くりらぼ
2018.6~2018.10

くりらぼ多摩川では、下記「ふりかえりList」にあるように、日々いろいろな活動を行っています。今号では、5つの活動をご紹介します。

ふりかえり List

- 6/30** 町工BAR vol.23
[田園都市株式会社創立100周年をテーマとしたブランドプロモーション]
たまりBAR
- 7/16** くりらぼワークショップ
[布とプラバンで作るイヤークセサリー]
- 7/22** 日曜くりらぼ倶楽部ワークショップ
[ミニ量をつくろう!]
- 7/27** 矢口西小学校サマーチャレンジ
by ART FACTORY 城南島
[手のひらサイズのジオラマ製作]
- 7/28~29** ARTFACTORY城南島ワークショップ
[ミニジオラマをつくろう!]
- 7/29** くりらぼ多摩川出張ワークショップ
@グランデュオ蒲田
[スプリングドラム作り]
- 8/2.9** くりらぼオープンDAY モノづくり体験
- 8/18.19** くりらぼ多摩川出張ワークショップ
[廃材を使ったキーホルダー作り]
@ 大田区観光情報センター
- 8/23** くりらぼオープンDAY モノづくり体験
- 8/25** 町工BAR vol.24
[工場男子×工場女子
ファインダーを通してみる若い職人たち]
たまりBAR
- 8/30** くりらぼオープンDAY モノづくり体験
- 9/29** おおたオープンファクトリー島部エリア
- 10/6** おおたオープンファクトリー臨海部エリア
- 10/13** おおたオープンファクトリー島部エリア
- 11/17** おおたオープンファクトリー新田丸エリア
- 11/24** (予定) おおたオープンファクトリー六郷エリア
- 不定期** 日曜くりらぼ倶楽部
(1~2回/月) (大人のための工作倶楽部)



7月29日 大田の工匠 技術・技能継承展2018 スプリングドラムづくりワークショップ

バネを使った不思議な楽器づくり

グランデュオ蒲田にて行われた、「大田の工匠 技術・技能継承展2018」の企画で、スプリングドラムづくりのワークショップを開催しました。スプリングドラムは、バネの伸び縮みで筒の底を振動させて音をならす打楽器です。バネ制作は(有)信成発條製作所、筒の底の穴開けは(有)多摩川鋳金工業所にご協力いただきました。参加した子ども達は、バネを筒に取り付ける作業に苦戦しながらも、保護者の方やスタッフと一緒に夢中になって作っていました。そして、ペンやシール、ウルトラマンモチーフなどを使って筒に自由に飾り付けをし、世界に1つだけの個性あふれるスプリングドラムが完成しました。



▲完成したスプリングドラムを振り、耳に当てて音を聴く子ども達。嵐や雷に似た不思議な音がするようです。背景には町工場の職人さんのパネルが展示されています。



▲池上スプリング製作所というバネ工場で教えていただいたバネづくりの仕組みや、面白いバネの種類などを、イラストを用いて紹介した冊子を作成し配布しました。

リレーコラム

新田丸と私



くりらぼ多摩川のある下丸子・武蔵新田エリア＝新田丸エリア。横浜国立大学の学生である私たちの新田丸への想いを綴ります。

今回のテーマ『おおたの町工場と出会う』

神谷圭祐 (横浜国立大学学生)

小説『下町ロケット』の舞台として知られる大田区には多くの町工場があります。長らく日本の経済の発展を支えてきたエリアですが、海外との競争や住宅需要の高さから町工場は年々減少しています。ただ、決して技術の力が衰えた訳ではありません。大田区でしかないモノづくりが根付いています。

大学の実習で大田区でのまちづくりに関わりはじめて五年、おおたオープンファクトリーをはじめとした「モノづくりのまちづくり」に少しでも貢献できるような活動を行ってきました。企画を進める際には多くの町工場に協力していただき、また多くの職人さんに出会うことができました。

大田区の町工場には、大きく二つの特徴があります。一つは、工場の業種の幅広さです。金属や樹脂の加工はもちろんのこと、自動ドアの製造から野菜工場まで取り揃え、大田区にない業種はない気さえします。またそれぞれの工場はとても先進的で驚かされます。昔ながらの場所、職人さんが一人黙々と作業を行うようなドラマに出てくる町工場も魅力的ですが、見たことのない機械や製品が並ぶ姿をみるととてもワクワクします。もう一つは、



▲大田区の魅力的な工場の一つである野菜工場。紫色の光に照らされた異空間が広がる

information

@ くりらぼ多摩川

魅力ある「モノづくりのまちづくり」を推進する活動拠点である「くりらぼ多摩川」。

ここでは、くりらぼ多摩川にて今後開催予定のイベントをいち早くお届け！

12/8,9 くりらぼ de 演劇

makani まにまに lani
「まあるくなって、わになって」



絵本3冊を演劇にしました。もともと町工場だった懐かしくアットホームな空間で、子どもも大人も、演劇と絵本を楽しんでみませんか？

詳細はTwitter (@lanilani_yunico) にて！

時間：12月8日 14:30~18:00~
12月9日 11:00~14:30~18:00~ ※要予約
場所：くりらぼ多摩川工場棟
料金：一般 2500円、小・中学生 1000円、
幼児 500円、3歳未満 無料

12/22 町工 BAR vol.26

これまでの「50」年と、
これからの「50」年



開館50周年を迎えた東急プラザ蒲田の総支配人である城間氏をゲストスピーカーとしてお迎えします。東急プラザ蒲田と街の50年を振り返り、「Shopping Center」に代わるこれからの「SC」=「Sharing Community」について語っていただきます。

時間：18:00~ ※要予約
場所：くりらぼ多摩川工場棟
料金：1000円 (ワンドリンク・おつまみ付)

12/22 隔月開催！/ たまり BAR

たまり場？多摩リバー？
「たまり BAR」！！



酒場(BAR)としてだけでなく、様々な人が交流・情報交換できる場(BAR)として「たまりBAR」をオープンします！
くりらぼ多摩川で活動しているメンバーがバーテンダーとしておもてなし！
何か新しいコトがしたい人！是非お越しを。

時間：17:00~21:00 ※予約不要
場所：くりらぼ多摩川事務所棟
会費：お気持ち

【くりらぼ通信】 vol.05 くりらぼ通信は、創造製作所「くりらぼ多摩川」が不定期に発行する活動報告紙です。

発行日：2018年 11月 17日 発行元：くりらぼ多摩川 〒146-0093 東京都大田区矢口 1-21-6 (東急多摩川線武蔵新田駅より徒歩約5分)

編集：横浜国立大学地域課題実習「おおたクリエイティブタウンプロジェクト」 編集協力：一般社団法人おおたクリエイティブタウンセンター・一般社団法人大田観光協会

公式HP：https://www.o-2.jp/lab/index.html Facebook：https://www.facebook.com/kurirabo

事務局：一般社団法人大田観光協会 〒144-0035 東京都大田区南蒲田 1-20-20 大田区産業プラザ2階 TEL 03-3734-0202 FAX 03-3734-0203 MAIL cre.lab@o-2.jp

6月
30

町工BAR vol.23
田園都市株式会社創立100周年を
テーマとしたブランドプロモーション



東急電鉄のまちづくり戦略

今回のテーマは東急電鉄によるブランドプロモーション。ゲストスピーカーとして東急電鉄の平江良成さんをお招きして、乗るだけではわからない東急電鉄の開発・まちづくりの魅力を発信していただきました。池上線での1日無料乗車デーや「生活名所」の作成などを通したイメージ戦略、渋谷駅の再開発など東急のまちづくりに関する魅力的なお話が盛りだくさんのトークショーとなりました。今後の蒲田駅と京急蒲田駅をつなぐまちづくりの動向にも要注目です。

8月
25

町工BAR vol.24
工場男子×工場女子
ファインダーを通してみる若い職人たち



若手職人の今とこれから

(有)共栄溶接の波田野哲二さんと(株)三陽機械製作所の緑川玲子さんをお迎えし、モデレーターの横浜国立大学の神谷圭祐さんのもと、町工場の仕事のやりがいや働きかけ、大失敗など様々お話しくださいました。お父様が開業された工場で働く波田野さんと、ご両親が町工場を営む緑川さん、モノづくりに身近な環境で育ったお二人のお話に会場は興味津々でした。最後にお二人からこれからの大田の町工場への期待として、技術の集積や羽田への近さを生かしたあり方をあげられました。

7月
16

くりらぼワークショップ
布とプラバンで作るイヤークセサリー



世界に一つだけ！唯一無二のアクセサリー

おしゃれなイヤークセサリーのワークショップが開催されました。町工場で出た布の端材とプラバンを加工し組み合わせたデコパーツをレジンで飾り付けることで完成します。参加者は、様々な種類の布や自由な形に切り出したプラバン、ビーズなどのデコレーションにより、オリジナリティあふれる、自分だけのイヤークセサリーを作り上げていました。それぞれの想いが詰まった作品ができたのではないのでしょうか。

8月
29
2330

くりらぼオープンDAY
夏休みのモノづくり体験



「見て、上手にできたよ」

衰えを見せない太陽が人々を照りつける8月30日は、今回くりらぼオープンDAYとして企画した夏休みモノづくり体験の最終日でした。11時から16時までの間に20人の親子が訪れました。刻印体験・キーホルダーづくり・エコバッグづくりから選べるモノづくり体験。材料の革や、模様を描くためのタンブとして使われるボルトやネジは、近隣の町工場から出た廃材を利用しました。「見て、上手にできたよ」4歳の少女の楽しそうな声に、頬を緩めずにはいられませんでした。

第4回

くりらVOICE

くりら VOICE（ヴォイス）では、くりらぼ多摩川に所縁のある方にクローズアップ！ご本人のこと、くりらぼとの関わりなど、ここでしか聞けない声をお届けします。



水上 祐佳さん

くりらぼ多摩川

この夏からくりらぼ多摩川の運営に仲間入りした、水上さん。くりらぼに関わるようになったきっかけから、くりらぼでやってみたいことまでをお聞きました。

くりらぼとの出会い

ー水上さんは北海道出身ですが、なぜ大田区に住むことになったのですか？

水上：3年前不動産屋に勧められるがままに武蔵新田に来ました。でも、来てみたらアットホームな感じで。関東に出てきて10年で初めてご近所さんができました。北海道には商店街がないので、それも新鮮でした。

ーなぜくりらぼの運営に関わることになったのですか？

水上：飲み屋で知り合った泉さん(※1)のワークショップに参加して、くりらぼの皆さんと知り合うことになり、私が主宰する演劇ユニットの公演などでくりらぼに出入りしている間に、声をかけてもらいました。

ーくりらぼには工場長と技術部長がいますが、水上さんの役職は何になりそうですか？

水上：何がいいか考えていますが、思いつかなくて。山本さんには「くりらぼのユカちゃん(窓際のトットちゃん(※2)風)に)でいいやん。」と言われます(笑)。

くりらぼでやってみたいこと

ー劇団ユニットを主宰されていますが、それを活かしてくりらぼでやってみたいことはありますか？

水上：演者とお客さんが密に関われる、規模が小さい演劇公演を実施して、お客さん同士の交流を生んでみたいです。

ー絵本専門士(※3)という資格を持っているそうですね。

水上：絵本専門士は数年前にできた新しい資格で、読書を支援する様々な活動をする資格です。私はお話し会を開いたり、絵本の内容を演劇でやったりしています。

ー絵本に関するワークショップをぜひやってほしいです！

水上：いいですね。町工場やオープンファクトリーの絵本をみんなで作ったら、子ども達にもわかりやすく、おもしろくなりそう。

くりらぼに対する意気込み

ーくりらぼで取り組みたいことはありますか？

水上：定期的なお話し会やワークショップを通して、くりらぼを子どもが気軽に立ち寄って遊べる場所にしていきたいですね。絵本や演劇など自分の特技を活かしてくりらぼに関わってみたいです。

(※1)
泉 昭子さん：
くりらぼ多摩川技術部長。詳しくは、くりらぼ通信第3号くりらVOICEを参照。

(※2)
『窓際のトットちゃん』：
女優の黒柳徹子による自伝的物語。1981年に講談社から出版された。

(※3)
絵本専門士：
絵本に関する高度な知識、技能及び感性を備えた絵本の専門家。平成26年度に独立行政法人国立青少年教育振興機構が新設した資格である。

ー
プロフィール
水上祐佳 Yuka Mizukami
北海道出身、下丸子在住。
保育士、演劇ユニット主宰、絵本専門士など多方面で活躍中。
劇団makaniまにまにIaniを主宰。くりらぼ多摩川の管理、演劇や絵本の企画を行う。